

に参画し、水害対策にも寄与する。また、24時間365日体制の防災センターを設けている。

快適性にこだわり ホスピタリティ溢れる設備

働く人の快適性にもこだわった。館内には専用の事務所区画のほか、共用施設として南北2カ所のリゾートホテルライクなエントランス、最上階のカフェラウンジ「ポート」と「ビーチ」、無人コンビニを配置し、ホスピタリティ溢れる充実した



カフェラウンジ「ビーチ」



リゾートホテルライクなエントランス



「葛西アートの森」

設備を備えた。

敷地内南側には築山や枯山水にカラフルな鉄と石のオブジェを配置し、表情豊かな植栽のカルフオルニア風のリゾート感を演出。旧江戸川との親水を表現したランドスケープ「葛西アートの森」を創造した。

ランドスケープデザインは、ルイ・ヴィトンのポップアップストアや瀬戸内醸造所の設計を手掛け、国内外で高い評価を得る一級建築士・菅原大輔氏がグッドデザイン賞受賞の「アライプロバンス浦安」に続き設計を担当。また、屋上には「絶景テラス」を設置した。

今回の開発は、土地区画整理事業として位置づけられ、西側区道沿いには南北約400mの歩道を新たに整備し江戸川区に提供。将来隣接するB棟敷地建物建築完了時には、区道から旧江戸川を結ぶ北側・中央・南側3本の緑道を作る予定。

引き合い旺盛、保稅・ 通関業者などの入居が決定

現在までに契約ベースで20%、保稅・通関業者3社とネットスーパー事業を手がけるイオンネクストデリバリーの計4社の入居が決まっている。引き合いも旺盛で、冷凍・冷蔵ニーズへの対応もコストを試算しているという。

新井社長は、「アライプロバンス葛西A棟は、2021年に竣工したアライプロバンス浦安に続く、当社の物流施設事業の第2弾。浦安の施設をはるかにしのぐ規模であり、まさに「本丸」の事業と位置付けられる」と強調。「当社は昭和14年からこの地で新井鉄工所・江戸川工場として事業を営み、主力工場だった。私も上場長を長く務めており、いまこの地で新たに物流施設が誕生し、感慨をおぼえる」と述べた。

物流施設事業を通じた地域貢献にも触れ、今後整備される緑道を通じて災害時などには河川からの物資輸送などにも活用できるとした。



新井社長

荷主企業・物流事業者を1冊に「物流総覧」

<http://cargo-news.co.jp/book/131>